

日刊 動労千葉

85. 11. 22

No. 2096

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

家族ぐるみ、地域ぐるみの 総決起体制 着々と前進 鉾子地域集会 103名で大成功



十一月十九日、鉾子コミュニティーセンターで、組合員・家族・地区労・国労の労働者など一〇三名の圧倒的結集のもとで「分割・民営化反対・五千万署名貫徹」鉾子地域集会が開催され、中野委員長長の講演を中心に大成功をかちとつた。

私たちのガマンも限界だ
闘う以外ない
——西本支部長あいさつ——

鉾子支部多田副支部長の司会のもとで進められた集会で、冒頭主催者あいさつにたった西本支部長は「本集会は、国鉄分割・民営化攻撃に対し、労働者の生活と権利を守るため、家族ぐるみの組織体制づくりと地域における共闘体制づくりをめざし開催しました。国鉄当局は今日、職場での労働運動を一切認めないばかりか処分を乱発しています。この間権利を奪い低賃金をおしつけ、さらに十万人も首を切ることには私たちはもうがまんができません。闘う以外ありません。動労千葉がこの攻撃をどう受けとめ、どう闘うのかを多くの方々知っていただきたい」と全参加者に熱く訴えた。

国鉄攻撃は全労働者への攻撃
共に闘おう 来賓あいさつ

鉾子地区労より山口議長・秋山事務局長が見えられ、代表して山口事務局長より「五千万署名は当初厳しいと思っていたが順調に集まっています。国鉄労働者にかげられた攻撃はやがて全労働者にかげられる。そうした認識のもと五千万署名を貫徹しぬき、共に闘おう」とのあいさつをうけた。

続いて来賓のあいさつにたった国労駅連協議長の根本氏は「兄弟組合として共にかんばりたい。現在、土俵だらに足がかかった情勢になっている。ここでふんばる以外ないと思っている。反動中曾根と対決する闘いとして五千万署名をなんとしても貫徹したい」と力強いあいさつをうけた。

全員が注目する中で、中野委員長が登壇した。中野委員長は、①赤字問題の本質②政府・資本がつくりだしたものであること。③マスコミによる国鉄労働者悪評の危険性④やがて中曾根に反対する全労働者がこの手口でやられ、全ての権利や生活が奪われることなど国鉄攻撃の本質を明確にあげだすとともに、動労千葉は、11・29ストライキで闘いに決起し、敵に打撃を与えようと、闘いをとおし全社会に国鉄問題をアピールしていくと方向性を明らかにし、全参加者に共に闘うことを訴え、満場の拍手で確認された。

木更津・千葉・鉾子の地域集会の大成功にふまえ、五千万署名を貫徹しぬき、11・29ストへ総力で突き進もう。

支部通信 信員発

- 24日・成田地域集会・14時、成田市田町公民館
- 25日・館山地域集会・17時半、安房教育会館

「分割民営化」粉碎、10万人首切り阻止、反動中曾根内閣打倒、五千万署名貫徹

11・28 国鉄青年労働者総決起集会

● 11月28日、18時、千葉市民会館

主催・11・28国鉄労働者集会 実行委員会

呼びかけ人 動労千葉青年部長・新藤雄一 国労千葉地本青年部長・兼古博行



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!